

平成 27 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(共和地区)

開催日時	平成 27 年 11 月 19 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時 10 分	天気 雨
場所	旧共和小学校図書室	
町民参加者	男 18 人 女 6 人 (50 代 2 人、60 代以上 22 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、参事兼都市整備課長、環境農林課長、商工観光課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：大野山牧場廃止に伴う諸問題》

- 先日大野山牧場の廃止について県の説明会があった。これから具体的な内容が話し合われていくと思うが、町としては具体的にどのようなスケジュールを考えているのか。
- 現在は大野山牧場の職員がいるのでゲリラ豪雨があった場合に側溝等がつまってしまっても何とか復旧させている。このようなことは3月以降牧場機能が停止してからも対応は必要になってくるだろう。
- 大野山の魅力あるところの活用を町から県へ要望していくということも考えてもらいたい。
- 職員宿舍や牛舎の処分はどうなるのか。
- 牧場用地の 70%が財産区の土地である。43 年に県が牧場を始めるにあたり、建物を建設する土地は借地ではいけないということで県に売り渡した。先日の地権者会議の時に、県は地元はその土地を返したい考えであると説明を受けたが、個人的には県に持たせたままにしておいた方が良く考えている。
- 都夫良野公園も含めて、県立大野山自然森林公園というような形で県に管理を行ってもらうようにしたほうが良い。

《テーマ：生活道》

- 28 年 5 月から新東名の工事が始まるとの話がある。地区内道路は福祉バスも走っているので工期がどうなるか等の地元説明をしてもらいたいと思っている。
- 新東名の工事用道路の建設は3年先になると言われたという話を聞いた。町経由で NEXCO 中日本に話をさせてもらったら、山北については予定通り 28 年 5 月頃から工事に取りかかる

予定との話しであった。工事用道路が出来上がるまでまだ年月が必要なので、町の用地であるバスの反転地として使用している場所へバス停を移動したいと考えている。

《テーマ：町政全般》

- 雨量計が町内に8箇所あるということだが、共和には設置されているのか。また、自動的に雨量が送信されるのか。
- 救急車に軽自動車を導入して、狭い場所でも搬送できるということを考えた方が良いと思うので、町としても小田原市消防と検討していただきたい。
- 避難所に情報を得るためのテレビ等は備え付けられているのか。
- 土砂災害の地図について危険区域が多く住民の間にも不安がある。町として避難勧告等をするだけでなく、避難箇所について事前に工事等をして対策をとるよう検討してもらいたい。
- 町のパークゴルフ場について1日券を作ってもらいたい。
- 町の商品券について、有効期間が1年だが期間を延ばしてもらいたい。
- 防災倉庫の備品としてバリケードやカラーコーン等を町が整備してもらえないか。
- 現在簡保の跡地の利用についてはどのような計画になっているのか。
- 災害が発生した際に一番初めに孤立するのは共和である。テレビで見たが、九州で災害が発生した際に孤立した方が、ヘリコプターから見えるように道路に石灰でSOSを書いていた。石灰では雨で消えてしまう可能性もあるので、ブルーシートにSOSと書いたものを事前に用意しておけば良いと思う。